

2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻
【グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻 博士後期課程】
試験科目
【 外国語試験 英語 】

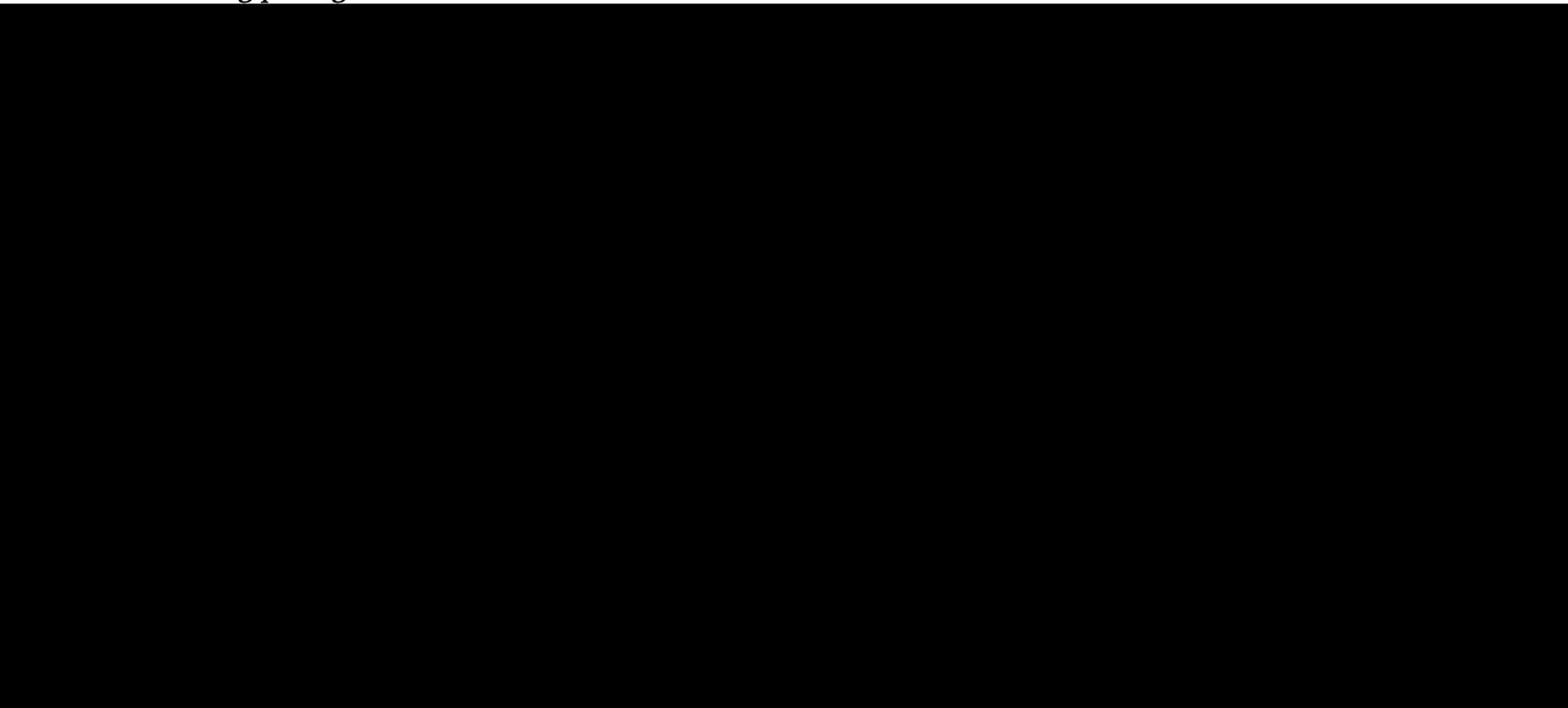
【出題意図】

英文を理解し、日本語で要約出来、かつ、英語で自らの考えを論理的に説明する力をはかる。

この試験では、英文に関する 2 つの Question (Question I. ~ Question II.) に答えていただきます。

問題指示文をよく読み、すべて解答してください。

Read the following passage.



[Adapted from: “Amid GPT-5 backlash, Sam Altman reveals why some users want ChatGPT’s ‘yes man’ personality back” by Aman Gupta, MINT, August 10, 2025.

<https://www.livemint.com/technology/tech-news/amid-gpt-5-backlash-sam-altman-reveals-why-some-users-want-chatgpts-yes-man-personality-back-gpt-4o-11754788731121.html>]

2026年度 駒澤大学大学院 2月 入学試験問題及び解答例

Question I.

問題文は、何についての記事ですか？日本語で要約してください。なお要約には、

- ① OpenAI は、GPT-4o にはどのような問題があると考え、GPT-5 にアップデートしたか、
- ② その結果として、ユーザー達からアルトマン氏に対し、どのような意見があったか、
の情報を含むようにしてください。

●解答に求められる要素・評価のポイント

- ① OpenAI は、GPT-4o はあまりにもそのフィードバックがユーザーに追従的であるという問題があると考え、ユーザーに対してより中立的なフィードバックを行う GPT-5 にアップデートした。
- ② しかしながらユーザー達からはアルトマン氏に対して、以前の GPT-4oの方がよかった、これまで人生において GPT-4o ほど自分に寄り添ってくれた人間はいなかった、自分の精神衛生上それが必要なので元のバージョンに戻してほしい、といった要望が寄せられた。等の内容が記載されていれば OK。

Question II.

アルトマン氏に対して意見を述べたユーザー達の立場に、あなたは賛成ですか、それとも反対ですか？あなたの立場とその理由とを、英語で説明してください。

●解答に求められる要素・評価のポイント

自分の立場（アルトマン氏に対して意見を述べたユーザー達の立場に、賛成か反対か）を述べたうえで、なぜそう考えるかの理由を論理的に英語で説明できていれば OK。

2026 年度 駒澤大学大学院 2 月 入学試験問題及び解答例

研究科・専攻 【グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻 博士後期課程】
試験科目 【 専門試験 メディア研究一般（外国人留学生） 】

出題意図

設問1 「グローバリゼーション」とは何か。貴方の研究との関連で説明しなさい。

「グローバリゼーション」は、一般的に広く曖昧に使われる言葉であるため、学術論文で使用するにあたっては、まず自己の解釈を示すことが求められる。志願者が本学「グローバル・メディア」研究科での博士号研究を計画するにあたって「グローバリゼーション」の意義をどのように解釈しているのを自己の研究計画との関係で示すことが求められている。

設問2 「メディア」とは何か。貴方の研究との関連で説明しなさい。

「メディア」は、一般的に広く曖昧に使われる言葉であるため、学術論文で使用するにあたっては、まず自己の解釈を示すことが求められる。志願者が本学「グローバル・メディア」研究科での博士号研究を計画するにあたって「メディア」の意義をどのように解釈しているのを自己の研究計画との関係で示すことが求められている。

設問3 あなたの研究の①「主題」および②「対象」が何かをそれぞれ簡略に示したうえで、それらが「グローバル・メディア・スタディーズ」とどのように関連するのか論じなさい。

博士号研究計画を策定するにあたって、自己の研究の概念的な①「主題」と物理的な②「対象」が明確に把握されているか否か、両者間の具体的な関連性について明確な説明ができるか否かを問う問題である。

その上で、設問1及び設問2を踏まえて、志願者がなぜ、本学「グローバルメディア」研究科を選んだのか自己の研究計画との関係で説明することが求められている。